

広見中学校×愛媛大学コラボ企画

◎「笑う鬼北に福来たる！」えがおのダンスプロジェクト



10月29日、広見中学校文化祭の中で、中学校と愛媛大学とのコラボによるダンスパフォーマンスが披露されました。

ダンスを媒体とした、仲間との協調性の育成や自己表現力の向上、大学生との交流や対話を通じた社会性の育成などを目的に行われたこの企画。広見中学校3年生の有志27名が、この日のために9月から練習を重ねてきました。「先行きの見えない日々の中でも、希望を持ち続けてほしい」というメッセージが込められたダンスは、体育館を揺らす迫力のパフォーマンスとなりました。

世界各地の手漉き紙と、泉貨紙とのコラボ

◎かみものづくりワークショップ



10月29日、ワーキングスペースWarmthで「かみものづくりワークショップ」が行われました。

内子町を拠点に、手仕事の紙を未来に残す活動を行っている、浪江由唯さんを講師に迎え、鬼北町の泉貨紙のほか、世界各地の手漉き紙を組み合わせてノートを作る、手製本に挑戦。参加者たちは、色・厚み・手触りなどが全く異なる、世界各地の紙の魅力に触れながら、自分だけのオリジナル作品の完成を目指して、慣れない手作業にも楽しみながら取り組んでいました。

迫力のヘリ訓練で、防災意識高める

◎鬼北町防災訓練（日吉地区）



11月4日、鬼北町防災訓練が日吉地区で行われました。

住民と行政の連携手順を確認し、災害に強い町づくりを行うため、公民館区ごとに持ち回り方式で行っている防災訓練。今回は、令和3年度に完成した、父野川上の富母里小学校跡地ヘリポートを活用し、富母里地区で発生した要救助者を、防災ヘリコプターで上鍵山の農村広場へ搬送する訓練などが行われました。

農村広場には日吉小中学生やみどり保育所の園児たちも集まり、防災ヘリの役割などを学びながら、防災への意識を高めていました。

癒しの秋を五感で感じて..

◎鬼が城山系いやしのトレッキング（秋）



10月30日、鬼北町トレッキング協会が主催する「鬼が城山系いやしのトレッキング（秋）」が開催されました。

鬼北町トレッキング協会の山下武会長の案内のもと訪れたのは、黒尊林道の登山口である猪のCOLから吊根根までの初級コース。参加者たちは、紅葉や鳥のさえずりなど、五感で楽しみながら歩みを進めました。

また、聴診器を使ってブナの木の内부를流れる水の音を聴く体験が行われ、参加者たちは耳を澄ませながら自然の鼓動を感じていました。